

第1回

AYAがんの医療と 支援のあり方研究会 学術集会



2019.2.11 MON

10:00~16:00

名古屋国際会議場 レセプションホール
141-143 会議室

会長 / 堀部 敬三 (国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター長)

学会テーマ / 「AYA世代がん医療と支援のこれからを語る」

AYA
oncology alliance

午前
の
部

基調講演1
AYA世代がん対策の取り組み 栗本 景介 (厚生労働省健康局がん・疾病対策課)

基調講演2
AYA世代のがんの特徴と課題 清水 千佳子 (国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)

シンポジウム1
AYA世代のがん患者・サバイバーの現状
玉城 研太郎 (那覇西クリニック) 前田 尚子 (国立病院機構 名古屋医療センター 小児科)
桜井 なおみ (一般社団法人 CSRプロジェクト) 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科)

午後
の
部

教育講演1
希少がんをめぐる諸問題 川井 章 (国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター)

教育講演2
AYA世代がん患者の意思決定支援 森 文子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

シンポジウム2
AYA世代がん患者・経験者のニーズ
樋口 明子 (公益財団法人 がんの子どもを守る会)
松井 基浩 (東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科、STAND UP!!!代表)

入会募集中!

演題募集期間 9/3~10/31

www.aya-ken.jp



※プログラムは変更になる場合がございます。

第1回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会 開催にあたって

AYA(思春期・若年成人)世代は、がんの生存率の改善が他の世代に比べて十分でなく、就学、就労、恋愛、結婚、出産、子育てなど世代特有の課題を抱えています。最近の全国規模の調査で、AYA世代のがんは、希少で多領域にわたるため診療経験の蓄積が乏しく、多様な患者のニーズに十分に答えられていない現状が明らかになりました。そこで、これらの解決に向けて、一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会(AYA研)を設立し、第1回学術集会を2019年2月11日(月、祝日)に名古屋で開催することにいたしました。テーマは「AYA世代がん医療と支援のこれからを語る」です。AYA世代のがん医療や支援に関わる医療従事者および支援団体の皆様が一同に会し、研究成果や活動内容を共有し、交流を深めることで、新たな連携やネットワークの構築の場にしたいと思います。



本研究会の特徴は、医師や研究者だけでなく、AYAのがん医療と支援に関わるあらゆる職種の方々、ならびに、当事者や支援団体の方々が同じ目的に向かって対等の立場で討議や活動を行うことです。国の第3期がん対策推進基本計画の一環としてAYA世代のがん対策が推進される中、本研究会を通じて、AYA世代のがん医療と支援の発展に寄与していきたいと考えています。関係の皆様には、是非、本研究会に入会いただき、学術集会への参加をお願い申し上げます。

なお、本研究会への入会、学術集会への参加および演題申し込みは、AYA研ホームページから可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会

理事長 堀部 敬三

2018・6

新刊 AYA患者と向き合う前に読んでおきたい一冊！
推奨される対応やモデルケース、活用できるリソースなども満載。

医療従事者が知っておきたい

AYA世代がんサポートガイド

平成27-29年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)

「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」班 編

AYA世代にかかわる多方面の専門科が、治療から看護、妊孕性、メンタルケア、経済問題や就労・教育支援、栄養、遺伝問題、情報の取り方等を幅広く論じました。総論では概要を、各論では推奨される対応やモデルケース等を解説しています。さらに、AYA世代の患者と円滑にコミュニケーションをとることができるよう、患者や医療従事者、教諭など、さまざまなステークホルダーの声をコラムとして掲載しました。

読者対象 AYA世代を支援する医師、看護師、理学療法士、作業療法士など医療従事者全般

◆B5判 132頁 10図 ◆定価(本体2,800円+税) ISBN978-4-307-00483-1



金原出版

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL03-3811-7184(営業部直通) FAX03-3813-0288



本の詳細、ご注文等はこちらから

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

